

きれいなバブル形成のためのコロナ通信 1回目

静岡県剣道連盟の会員の皆さまにおかれましては、コロナ下ではありますが、良い春をお迎えのことと思います。さて、年代別選手権が5月16日（日曜日）静岡県武道館にて開催予定となっています。それにあわせまして、最近のコロナ感染症に関する情報を4回にわたりお届けします。

今回は、まず、全剣連からの鼻マスク禁止の通知について、新しいスポーツイベント開催のあり方についてふれます。

1、鼻出しマスク禁止の通知

4月7日付けで、全日本剣道連盟から鼻出しマスクについての取り決め改定の通知が出ました。

<https://www.kendo.or.jp/information/20210407/>

マスクは苦しいので、飛沫を口ほどは飛ばさない鼻については出しても良いという、「人にうつさないこと」に重きをおいた取り決めで面マスクの着用が開始されました。第4波が到来し、変異株の増加とともに、コロナウイルスが感染力を強化しています。また、各種全国大会も再開されるにあたり、「**人からうつされないこと**」にも

しっかり取り組む必要が増したので、この通知が出たとお考えください。ほとんどの剣士の皆さまが既に鼻を覆っておられると医科学委員会では了解しております。あらためて、**面着用時の稽古中も鼻を覆ってのマスク使用**のご確認をお願いします。



2、新しいスポーツイベント開催のあり方

7月にはオリンピック、パラリンピックという、世界最大のスポーツイベントが東京で開催予定です。その一方で、第4波が到来し、まん延防止等重点措置が大阪、兵庫、宮城、東京、京都、沖縄で実施されています。このような感染状況下にも、文化的活動は継続するという考えのもと、剣道も全国レベルの大会や段位審査を実施しています。どのような感染対策のアイデアが活動の継続を支えているか紹介します。

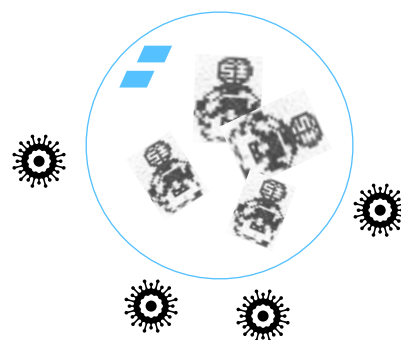
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODH252SM0V20C21A1000000>

1月28日の日本経済新聞に紹介された国際的なスポーツイベント開催の方法を『バブル方式』として紹介した記事です。選手及びその関係者を大きな1つの泡の中に入れて、泡の中にコロナがない状態を作って大会からクラスターを発生させないとする取り組みです。この考えに基づいて、全日本選手権は3月14日に長野で実施されました。その際のガイドラインは、『バブル方式』を採用しています。

https://www.kendo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/02/guidelines_for_all_japan_kendo_championship.pdf

スポーツイベントに関係する選手、大会関係者はもちろん、会場関係者、報道関係者、宿泊施設関係者、交通関係者、すべての関係者の家族、職場まで、多数の人々の協力なしにはコロナのいないバブルを完成させることはできません。マスクの使用、手指消毒、換気と密の回避、2週間の体温記録と健康調査、PCR検査がバブル形成の基本ツールとなります。県大会レベルでPCR検査を採用することはまだ、どの競技でも一般的ではありませんが、今後のワクチン接種や治療薬開発の状況次第では、PCR検査の利用の可能性は検討すべき時が来るかもしれません。全国レベルの大会ではPCR検査は実施されるのが一般化するでしょう。今後、観客についても同様の扱いを受ける時代に既になったのだと思っています。

5月16日の2週間前、**5月2日からバブル形成を意識した生活**をお心掛けください。また、ご家族の皆さまや職場の皆さまへのご協力もお声掛けお願いします。なかなかできないことではありますが、県レベルの大会をこれからも成功させ続けるには、身近な仲間とのバブル形成を日頃から意識し、声をかけあうことはとても大切なことなのでは、とわれわれは考えています。



藤枝ご当地情報：静岡県武道館周辺の情報进行少し、おまけです。



静岡県武道館から駅を越えて北へ4km（徒歩60分、駅北からバス30分）に**蓮華寺池公園**があります。駐車場もあります。お散歩に最適です。スタバもあります。白鳥のボートにも乗れます。滑り台がリニューアルされました。長いですよ。例年ですと5月は藤の花が見事です。今年は4月中旬に既に咲いていたので、5月16日は見頃を過ぎているかも。奥の山に登ると古墳があります。古墳からの富士山はいいですよ。

（古墳から駿河湾焼津方面を望む）